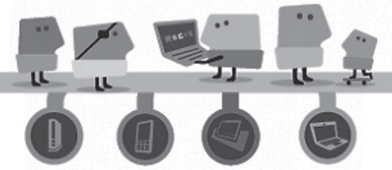


Linuxベースの開発プラットフォーム MeeGoの基礎知識



MeeGoとは、米国Intel社によるモバイル端末向けLinuxディストリビューションMoblinとフィンランドNokia社が携帯機器に採用してきたOSのMaemoを統合し、The Linux Foundationが管理しているプラットフォームである。本稿では、そのMeeGoの概要と、開発環境の構築を解説する。

小園井 康志, 尹 栄植,
K.I. マヘーシ,

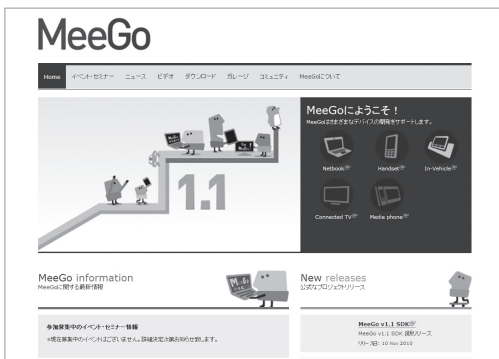
(編集部)

1. MeeGoはLinuxベース

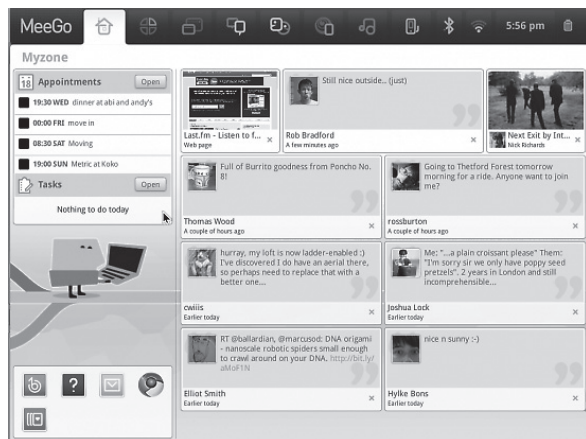
MeeGoとは、携帯電話やネット・ブック、カー・ナビゲーション(カーナビ)など、いわゆるモバイル・デバイス向けのLinuxをベースにしたオペレーティング・システム(OS)のプロジェクトです。テレビなどの家電製品への応用も考えられており、MeeGoのWebサイト(図1)には“Connected TV”, “Media Phone”といったデバイス向け

のプラットフォームも想定されています。

このMeeGoは、米国Intel社が主導してきたモバイル端末向けLinuxディストリビューションであるMoblinと、フィンランドNokia社が携帯機器に採用してきたOSのMaemoを統合するプロジェクトとして2010年2月に発表されました。2010年の5月にバージョン1.0が、同年11月にバージョン1.1が発表されています。バージョン1.0ではネット・ブック向けのUI(ユーザ・インターフェース)を搭載したディストリビューション(図2)のみでした。バージョン1.1では、それに加えてIVI(In-Vehicle Infotainment)用、いわゆるカーナビ機器向けのディストリビューション(図3)と、携帯電話など向けのHandset版(図4)が登場しました。MeeGoは最新の技術を採用しており、カーネルにリリース時の最新版を採用したり、Btrfs(米国Oracle社によるオープン・ソースのファイル・システム)などをサポートするなどの挑戦もしています。



◀ 図1
MeeGoのWebサイト
<http://meego.jp/>



◀ 図2
ネットブック向けのMeeGo



▶ 図3
カー・ナビゲーション
機器向けのMeeGo



▶ 図4
ハンドセット版のMeeGo